

## 博物館の理念

国立アイヌ民族博物館は、日本の先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展に寄与する。

## 博物館で出会うこと・もの

### ITAK

〔イタク：ことば〕  
〔→私たちのことば〕

### IKOR

〔イコロ：宝〕  
〔→私たちの世界〕

### KAMUY

〔カムイ：神〕  
〔→私たちの世界〕

### MAKIRI

〔マキリ：小刀〕  
〔→私たちのしごと〕

### CISE

〔チセ：家〕  
〔→私たちのくらし〕

### CIP

〔チフ：舟〕  
〔→私たちの交流〕



### ACCESS

**空路**  
●東京→札幌（新千歳空港） ●大阪→札幌（新千歳空港）  
約1時間35分 1152便 約2時間10分 118便

**各都市からの「車」と「JR」**  
札幌→白老 千歳→白老 苫小牧→白老  
高速道路で約60分 高速道路で約40分 高速道路で約20分  
JR特急で約60分 JR特急で約30分 JR特急で約15分  
室蘭→白老 函館→白老  
高速道路で約30分 高速道路で約4時間  
JR特急で約30分 JR特急で約2時間30分



文化庁 アイヌ 検索

文化庁 国立アイヌ民族博物館設立準備室 ☎011-350-5103  
公益財団法人アイヌ民族文化財団

※国立アイヌ民族博物館は2020年4月に開館します。  
※本イメージ図は、設計段階における案であり、変更の可能性がります。



ルンペ（木綿衣の一種）

## 国立アイヌ民族博物館

National Ainu Museum

2020年4月オープン

Opening in April 2020

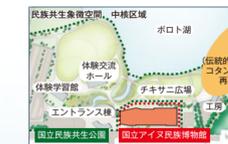
〒722-0003  
6 尾道市東御所町11-9  
JA尾道市駅前ビル1F

## 2020年4月、白老町ポロト湖畔に

## 「国立アイヌ民族博物館」誕生。

北海道白老町に整備される「民族共生象徴空間」。アイヌの歴史や文化等に関する幅広い理解の促進を図り、未来へ向けてアイヌ文化の継承と新たなアイヌ文化の発展と創造のための拠点です。

その中核施設のひとつとして、「国立アイヌ民族博物館」が2020年4月に開館します。



民族共生象徴空間  
ポロト湖畔に整備される民族共生象徴空間の中核区域には、国立アイヌ民族博物館のほか、体験交流ホールや体験学習館、工房等を備えた「国立民族共生公園」が併設されます。



アイヌ文化の過去・現在・未来  
国立アイヌ民族博物館は、伝統的なアイヌ文化を一面的に展示するわけではありません。現代に息づく多様なアイヌ文化とそれに関わる人々をさまざまな視点から紹介し、未来のアイヌ文化の創造に寄与します。



北緯42度 日本最北端の国立博物館  
国内には、東京、京都、福岡などに全部で7館の国立博物館があります。国立アイヌ民族博物館は、その中でも最北端に位置し、北海道で初めての国立博物館です。北海道から世界へアイヌ文化を発信していきます。



展示は6つのテーマで構成。  
アイヌの歴史や文化について、  
国内外の方々にわかりやすく紹介します。

【展示構成】

- ポロト湖を望む展望ロビーを抜け「導入展示」へ
- それぞれの展示テーマを代表する資料を一望できる「プラザ展示」
- 「ことば」、「世界」、「暮らし」、「歴史」、「しごと」、「交流」の6つのテーマで展示を構成し、さまざまな視点からアイヌ文化を紹介
- アイヌ文化・歴史を楽しみながら学び、体験を深める「子ども展示」
- 展示内容は新しい研究成果を取り入れて、随時更新していきます



■導入展示  
Introduction  
世界の民族と出会い、そのひとつの民族であるアイヌの人々が、お客様を展示室へといざないます。



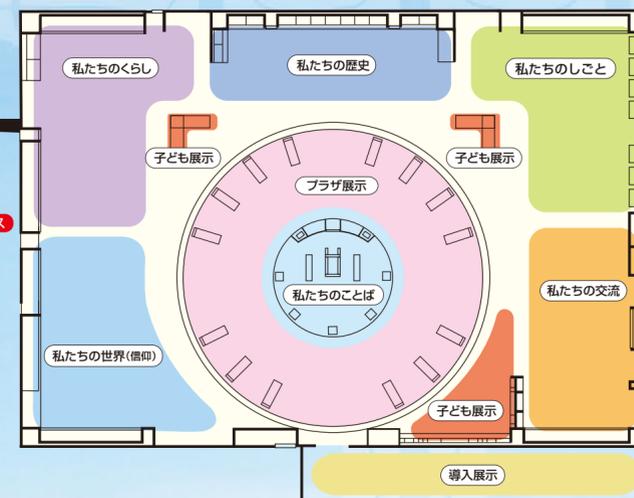
■プラザ展示  
Plaza  
6つの展示テーマの代表的な資料が一室に会する展示です。お時間に限りのあるお客様でも、代表的な資料を見学することで基礎的なことを知ることができます。



■子ども展示  
Interactive Gallery  
6つの展示テーマに対応するアイテムを手にとってみたり、遊んでみたり…。体験をもっとくわしく知りたくなったら、それぞれのテーマ展示に行ってみましょう。



サブエントランス	
施設規模	8,600㎡
延床面積	1,250㎡
基本展示室	1,000㎡
特別/テーマ展示室	150㎡
シアター	150㎡
調査研究スペース	1,500㎡



アイヌの人々の視点から「私たちの～」という語りで始まる6つのテーマ展示



■私たちのことば  
Our Language  
アイヌ語とはどのような言語なのか、日本語との関わり、アイヌ語由来の地名などから、アイヌ語という「ことば」を紹介します。口承文芸や、危機言語であるアイヌ語の復興についても取り上げます。



■私たちの世界(信仰)  
Our Universes  
アイヌの世界観の中心となる、カムイ(神)の考えかた、自然観、死生観などについて紹介します。また、イオマンテ(霊送り儀礼)をはじめとする儀礼について、使われる道具や儀礼のもつ意味を通じて、アイヌの世界観にふれていきます。



■私たちの暮らし  
Our Lives  
衣食住、人の一生、音楽や舞踊など、アイヌ文化の特色や地域差を、さまざまな資料やAR技術を通して紹介します。また、それらの文化伝承に携わる現在のアイヌの人々についても紹介します。



■私たちの歴史  
Our History  
地図と年表が連動する「ストーリーウォール」を体験しながら、現代に続くアイヌの歴史のひろがりや連なりを視覚的にわかりやすく紹介します。



■私たちのしごと  
Our Work  
生活の根となる「しごと」について、狩猟、漁撈、採集、農耕といった伝統的な生業にふれていきます。そこから現在を生きるアイヌの人々の仕事まで通じて見ていくことで、伝統文化が変容しながら現代までつながっていることを紹介します。



■私たちの交流  
Our Trade  
アイヌの人々は、まわりの民族と交流を行ってきました。交易品を通じて、さまざまな文化や民族との交流をたどっていくとともに、現在に続く民族共生のありかたを見ていきます。

タマサイ(女性の首飾り)

イクバスイ(持酒器・儀礼具の一種)

マキリ(小刀)

